

鹿島小だより

第36号 平成30年10月11日(木)発行 文責:鈴木

【電話】0244-46-2240【ホームページ】<https://minamisoma.fcs.ed.jp>

平成30年度重点目標「話し合おう やってみよう」

芸術の秋を満喫しています

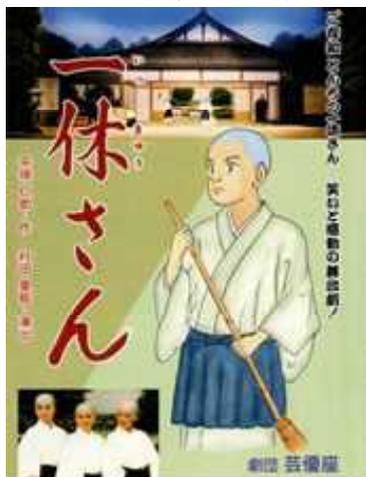
〈鹿島区小中学校音楽祭〉

2日(火)にさくらホールで行われた音楽祭には、本校からは5年生全員、吹奏楽部とバトン部の皆さんが参加しました。この日の向けて、音楽の時間はもちろん、朝や休み時間、放課後等も利用して、みんなで心を一つにして練習を重ねてきました。当日は、朝早くから保護者の皆さんも会場にお越しになり、子どもたちの発表に大きな拍手をいただきました。本当にありがとうございました。5年生は合唱「糸」と合奏「ダンシング・ヒーロー」を、吹奏楽部とバトン部は「千と千尋の神隠しメドレー」を発表しました。出演した子どもたちは、大きなステージでまばゆいばかりのライトを浴びて、学校ではなかなかできない経験をしました。これらの曲は、来月10日(土)の学習発表会でも披露します。当日会場にお越しになれなかった皆さんも、どうぞお楽しみに。



〈小学校舞台芸術鑑賞教室〉

4日(木)にはゆめはっとで、市内の小学校1~3年生を対象にした舞台芸術鑑賞教室が行われました。今回は、劇団芸優座による「一休さん」を鑑賞しました。一休さんといえば、誰でもすぐにとんち話を思い浮かべますが、これは江戸時代以降に作られたそうです。だいぶ前になりますが、テレビアニメとしても放送されていたので、保護者の皆さんにもなじみ深いお話ではないでしょうか。今回は、幼いながらも明るく修行に励む元気な一休さんたちの騒動や、母子の愛情の深さなどが盛り込まれた劇を鑑賞しました。大きなステージいっぱい展開される劇を観ながら、子どもたちは歓声を上げたり拍手をしたりと劇の世界へ引き込まれ、あっという間に楽しい時間が過ぎてしまいました。終演後にはキャストの皆さんがロビー並び、子どもたちが帰るの見送ってくれました。



《裏面もご覧ください》

《 お め で と う 》

◆ 青少年読書感想文コンクール相馬地方審査会

特選	5年	鹿又	さん	「光をくれた犬 盲導犬の一生」を読んで
	6年	小山田	さん	「クニマスは生きていた」を読んで
入選	2年	榎内	さん	ちゃんとことばにしてみよう
	6年	荒	さん	過去の悲しい記録
佳作	1年	山内	さん	「おばけずかん」をよんで
		酒井	さん	すてきだね「ともだちパワー」
	2年	大和田	さん	けんとかんへ
		吉田	さん	虫たちの世界
	3年	塙	さん	みんな学校へ行けるといいな
		鹿仁島	さん	「ぼくは海になった」を読んで
	4年	山口	さん	「がんばれ！もうどう犬サーブ」を読んで
		伊在井	さん	「クラウいっしょに走ろう」を読んで
		五賀	さん	ぼくの犬キング
	5年	天野	さん	「えっちゃんのせんそう」を読んで

※ 特選の2作品は、福島県審査会に出品されます。

◆ 南相馬市発明工夫展

南相馬市教育委員会教育長賞 6年 渡部 さん「電球とる～ぞ！」

※ 渡部さんの作品は、福島県発明展に出品されます。